# りす倶楽部

2019年
2月号
第268号

## シクラメン

「うす紅色したシクラメンほど、まぶしいものはない。恋する時の君のようです。」と布施明さんの甘い声が、ラジオから流れている。歌詞は「暮惑う街の別れ道には　シクラメンのかほり　むなしくゆれて」と続いた。

生きとし生ける者、いずれ別れはあるものの、「今を生きる」りす倶楽部会員の繋がりは、まぶしく暖かい。

弁護士　福井大海

## 葬送界の先達お二方が逝った平成30年

NPOりすシステム 相談役　松島如戒

私の身のまわりでも、毎年多くの方々が鬼籍に入られていますが、特に昨年はとても大切な先達お二方を喪いました。

お一方は、藤井正雄大正大学名誉教授、もうお一方は、溝口彦一西日本環境株式会社会長です。

### 藤井正雄先生

藤井先生は、故磯村英一先生(もやいの会々長)にお引き合わせいただき、大正大学の研究室を訪ねて、お目にかかったのが最初でした。

磯村先生のお話によると、「藤井先生は仏教学者として著名な方。私が当時の鈴木東京都知事に頼まれ、東京都霊園問題調査会々長をお引き受けし、2年間の調査研究の結果、1988年3月に報告書を知事に提出したが、これは、人の死周辺、特に葬儀や墓について造詣の深い、藤井先生の知見によるところが大きかった。先生は、我が国で最も早い時期から、葬儀や墓の問題を科学としてとらえ、それを研究対象とされていた稀有な学者だ。君がこれから墓地を運営し、人の死の周辺に関心を持つのであれば、藤井先生に師事することをすすめる」とのご教示をいただきました。

もやいの会創立構想を具体化する際、真っ先に藤井先生に、代表呼びかけ人のお一人に加わって下さるよう、磯村先生の使者としてお願いに伺いました。藤井先生は、30年もの長きに亘ってご指導いただいた大恩人です。

もやいの会の慰霊の儀式は「超宗教」なのですが、このフレーズは、もやいの会創立準備会の際の、藤井先生のご提唱によるものです。

会議の際、「もやいの碑は墓だろう。供養ということになると、

何か宗教的な儀礼が必要じゃないか」という話になりました。

いろいろな意見が出ました。「春は仏教で、秋はキリスト教ではどうか」これに対し、キリスト教徒は解禁になった明治の頃から今に至るも、全国民の1％を超えたことがない」（聖学院大学教授）等、議論百出の中、藤井先生から「超宗教」というご発言がありました。

「よく、『私は無宗教者だ』という人がいるが、人として生を享け、宗教心のない人はいないだろう。無宗教という意味は、既存の宗教宗派の教えを信じていないという意味に使われることが多い。そこで、もやいの会は、人間の絶対的平等、それ故に国籍や民族の違いを超えて、もやいの碑に納まろうという理念を掲げているのだから、全ての宗教を超えたところで慰霊行事をするという意味で、『超宗教』という新しい概念を掲げてはどうか」

万雷の拍手により、「超宗教」という考え方を、もやいの会の指針とすることとなったのでした。

それ以外にも、先達に教えを乞うたことは枚挙に遑（いとま）がありませんが、「生前契約」を構想する際のことが忘れられません。藤井先生は学者である前に敬虔な仏教徒、しかも当時、ご尊父は浄土宗総本山 知恩院の門主をおつとめであった、仏教界の重鎮でした。そんな藤井先生に宗教儀礼抜きの葬儀だって、いいじゃない、という運動体を創設しようというのですから、ご相談するのも気が重いことでした。

私は先生に、「もやいの会々員の皆さんからの、『もやいの会でも功徳院でも良いから、もやいの碑に入る前の葬儀や火葬を、ぜひ出来るようにして欲しい』との強い要望に応えるための企画を練っています。多くの場合は仏教各宗派でしょうが、私は特に檀那（だんな）寺もないし宗教心も薄いので、宗教儀礼なしの葬儀も受け付ける方針を示したいのですが…」とご相談しました。

すると先生は、「身近な人が亡くなって、悲しみや後悔の念を持たない人はいないと思うが、その表現の仕方の一つが、葬儀や法要。宗教儀礼をしないというのは、それはそれで、良いと思う」とおっしゃって下さったのです。

私も寺の人間、先生も仏教界の重鎮ですから、「藤井先生が、葬式をしなくても良いとおっしゃった」と外に向かって言ったことはありませんが、先生のこの一言が、生前契約企画づくりの後押しになったことは事実です。

そんな経緯もあり、藤井先生にはりすシステム創立時に監事にご就任いただき、文字通り生前契約を監督して下さいました。先生のご冥福を心からお祈りいたします。

## おじじ・溝口彦一さん

２０００年にりすシステムがＮＰＯとなり、ＮＨＫの正午のニュースで全国に報じられ、問い合わせが殺到しました。

それまでは東京周辺の方々のみ、生前契約をお引受けしていたのですが、全国津々浦々にまで守備範囲を広げざるを得なくなりました。

そこで、当時の社団法人 全国霊柩自動車協会専務理事・柴山喜郎さんに、全都道府県の有力な霊柩事業者あてに紹介状を書いてもらい、全国行脚を行いました。その地域でりすシステムの利用者が亡くなった場合、遺体の搬送を引き受け、葬儀業者も紹介して欲しいとのお願いをしたのです。

その旅の途中、長野市内の業者を訪ねるついでに、長野市のホテルで開催されていた、社団法人 日本環境斎苑協会の年次総会に出席されている、当時の理事長・島崎昭さんを訪ねました。

するとそこに、おじじこと、溝口彦一さんと、娘さんの立子さんがおられ、島崎理

事長にお引合わせいただきました。まさに奇遇(きぐう)でした。

話しはさかのぼり、1997年7月、毎日コミュニケーションズから『サイバーストーン ―インターネット上の「墓」革命』を出版しましたが、執筆の過程で、火葬場の残滓(ざんし)の最終処分について知りたいとの思いにかられました。

最初の手がかりは岡山市役所で、墓地担当部署に電話しました。岡山市は戦後の墓地不足を想定し、一部収骨していることは広く知られていたのですが、私の関心事は、収骨した残りの骨などの処分をどうしているのか、ということでした。

『サイバーストーン―インターネット上の「墓」革命』の一節を引用します。

遺骸を焼いた後、遺族が骨壺に入れるお骨を拾うが、拾骨されないお骨はどこにいくのか。

この問題は、お骨を灰にして自然に還し、「お骨レス」化を目ざすサイバーストーンとは非常に関係が深いテーマである。このテーマにきわめて有益なヒントを与えてくれたのが岡山市である。

岡山市では、戦後の都市復興期に骨壺を小さくした。戦火の焼け跡から都市復興をしていくためには、戦争による死者の多いこと、また予測できる人口増加の懸念から、墓や墓地の増加をおさえるための施策の一つとして、骨壺を小さくしたということだ。

骨壺が小さいということは、拾骨せずに残されたお骨があるということになる。その残骨を含む灰などはどのように処理されているのだろうか。私は岡山市役所に電話をした。

岡山市役所によると、とりあえず火葬場でドラム缶に入れてストックし、業者に引き取ってもらうという。業者は淡路島の某社であったが、阪神淡路大震災の被災で処理業務が不能になったため、その後は神戸に本社のある某社がストックされた残骨灰を引き取りにきて、静岡県で処理しているとのことである。その業者名を聞いて、さっそく連絡を取った。

その業者は、きわめて明快に次のように教えてくれた。

「まず、お骨を引き取ります。そして、お骨をセレクターにかけて、遺体が身につけていた物の残滓などお骨以外の物とお骨の細かいかけらとを選り分けます。セレクターで選り分けたお骨は、製粉機にかけて粉にします。ちょうど石灰みたいな状態になります」

この業者はお骨を「粉化」しているのだ。すると、次の問題は「粉化」したお骨をどう処理しているかである。これも、その業者はきわめて明快に答えてくれた。

「拾骨しない骨の粉（パウダー状）を供養してくれるお寺に持っていき、そこで土に還し、供養しています」

パーフェクトである。感心した私は業者にそういってから、「お骨を引き取る時、お金をもらうんですか?」とたずねた。

「はい。年間契約で岡山市から頂いております。ただ、東北地方のほうでは入札式のところもあると聞いています」

「では、引き取るほうがお金を払うのですね」

「そうみたいですね。でも、おおむね火葬場側が業者にお金を払っています」

私は残骨の処理過程の見学を申し込み、快諾されて日程を詰めるところまで話が進んだが、数時間後、「当局よりの指導もあって、見学はお断りしたい」との電話があった。「当局」とはなんのことか判然としないが、この業界の神秘性のようなものを、私は感じ取ったと述べるにとどめる。

ここに出て来る、最初の電話の主は立子さんで、見学断りの電話の主は、おじじ、溝口さんでした。溝口さん親子との出会いは、この電話でのやり取りから3年後、長野で果たされました。

島崎理事長からご紹介いただいたことで、その場の空気が和らぎ、後日、浜松市郊外の処理工場の見学が許可されました。人と人との出会いの不思議さを、しみじみと感じさせる出来事でしたが、早速浜松へ赴きました。

浜松駅では、おじじが出迎えてくれ、こんな話をしてくれました。「娘は嫁にもいかんと、この仕事を継いでくれるといって、一生懸命仕事を覚えている。この仕事は世の中に、ほとんど理解されていないのだが、人間の最後の最後を、丁寧に、そして美しく始末をつけるという大事な仕事なんだ。この仕事がお天道様の下、上を向いて歩けるような仕事にして、ワシは死にたい。あんた、協力してくれるかい」

私に何が出来るか分かりませんでしたが、お骨レスの葬送を理想とする私にとって、溝口親子が担ってくれている仕事は極めて重要です。分かりましたと力強く返事をしてから、18年が経過しました。

本稿前編でご紹介した藤井正雄先生をはじめ、葬送関係の著名人を浜松工場へご案内し続けました。おじじとはウマが合うとでもいうのでしょうか、忘れ得ぬ恩人としてお付き合いさせていただきました。

おじじは食通で、私が訪ねると開口一番、「何喰うか?」が口ぐせでした。若い頃にはトラックを自ら操り、全国を廻って残骨灰を集荷し、無茶もしていたのでしょう。カラダのあちこちが悪く、医者とは縁の切れない晩年だったようですが、立子さんはじめ周囲の方々の献身的な介護を受け、在宅中心の暮らしを最後まで続けておられたそうです。

おじじと私は、娘に事業を託すという点で共通するものがあり、「鬼のような娘がな…」と、お互い娘自慢をしたものです。

私の81年の人生で、溝口さん親子との親密な交流は貴重なものでした。心からおじじのご冥福をお祈りするとともに、立子さんがお元気で、おじじの残したすばらしい社会貢献事業を盛り立てていかれることを願っています。結婚に年齢制限はないので、もしかして熟女のウェディング姿が見られるといいナ…とも思っています。その時私が生きていたら、おじじの代役が務まるのは、私しかいないかも…。

藤井正雄先生、おじじこと溝口彦一さんに出会っていなければ、私の人生は薄っぺらなものになっていたことだろうと、改めて思いにふけっています。

## なんでも談話室だより

りすシステム 生前契約スーパーバイザー　黒澤淑子

### 1月18日（金）東日本支部

晴天続きで今日も乾燥注意報。「あっ！」お元気な方のお顔が見えた。最近の新聞の一面トップに公営賃貸住宅の「保証」の在り方が問題になった話で始まる。入居保証は、規則を守り、生活している状態を保証する事なのかな？と考えていると、入居保証が必要な老人ホーム等施設の話題になり、質問が集中。

あれ…ここで気づきました。新年の御挨拶をしていなかった。慌てて「今年もよろしくお願いします！」

高齢者向け施設の種別の説明を希望されたので、白板に書き始めたら、プリントしないと無理と気付き、資料発行？まで「発酵」の話で繋ぐ。お味噌です。「医者いらず」は手前味噌でも、身近な「良薬」です。自分流味噌玉の秘策をTさんから御伝授。お昼はお味噌と御縁なしでも「明日があるさ」。そして明日は続きます。

さて、プリントを配って施設それぞれの入居資格の説明。質問多数。将来、希望の施設があっても、その時の体の状態で利用出来ない事もありますが、今すぐの入居…でなければ、いつかきっとお役に立つ情報です。

# セコム・ホームセキュリティのご案内

日頃から健康や防犯に気を付けていても、突然何が起こるかわかりません。りすシステムが推奨する「セコム・ホームセキュリティ」は、24 時間 365 日休みなく、あなたの「もしもの時」に対処します。救急通報、センサーによる安否見守りサービス・防犯・火災・非常通報等に対応し、電話の応答がない場合はセコム株式会社の緊急対処員がただちに駆けつけます。異常があった場合には 119 番と同時にりすシステムに連絡が入ります。いのちと暮らしを守るため「セコム・ホームセキュリティ」の設置をお勧めします。

## セコム説明会のご案内

### 東京

**【日時】　3 月 15 日 ( 金 )　12：30 ～ 13：00**
**16：00 ～ 16：30**
**3 月 19 日 ( 火 )　15：00 ～ 15：30**
**4 月 15 日 ( 月 )　12：30 ～ 13：00**
**16：00 ～ 16：30**
**4 月 19 日 ( 金 )　15：00 ～ 15：30**

**【会場】ＮＰＯりすシステム 北の丸グラスゲート 1F**
東京都千代田区九段北 1-4-5
【最寄駅】東京メトロ半蔵門線・東西線・都営新宿線
「九段下」駅 (3･5･7 番出口 ) 徒歩 5 分

**【日時】　3 月 12 日 ( 火 )　10：00 ～ 11：00**
**4 月 12 日 ( 金 )　10：00 ～ 11：00**
**【会場】りすセンター新木場**　東京都江東区新木場 4-6-13
【最寄駅】東京メトロ有楽町線・ＪＲ京葉線・高速りんかい線
「新木場」駅よりバス 8 分
※新木場駅から送迎の用意があります
※参加希望の方はご連絡ください

### 名古屋

**【日時】3 月 10 日 ( 日 )　14：00 ～ 15：00**
**【会場】ＮＰＯりすシステム中部日本支部**
名古屋市中村区名駅 3-13-28　名駅セブンスタービル 1211
【最寄駅】ＪＲ「名古屋」駅徒歩 5 分
※参加希望の方はご連絡ください

### 大阪

**【日時】〈生前契約説明会終了後〉**
**3 月 7 日 ( 木 )　12：00 頃～ /15：30 頃～**
**4 月 7 日 ( 日 )　12：00 頃～ /15：30 頃～**
**〈談話サロン終了後〉**
**4 月 23 日 ( 火 ) 14：15 ～ 15：00**
**【会場】ＮＰＯりすシステム西日本支部**
大阪市北区東天満 1-10-14　MF 南森町 2 ビル 4 F
【最寄駅】地下鉄谷町線／堺筋線　「南森町」駅徒歩 3 分
ＪＲ東西線　「大阪天満」駅徒歩 1 分
＊生前契約説明会・談話サロン終了後、セコム担当者が機器の操作方法、契約時や月々の費用、工事について等の説明をいたします。参加希望の方はご連絡ください。

**急病時などは、ペンダント型の「マイドクター」を握るだけで、救急信号がセコムに伝わります。**

**室内の人の動きをセンサーで確認。一定時間動きが確認できなければ、異常事態が発生したと判断し、セコムが対応します。**

**Xperia Hello!**
**（エクスペリア ハロー）**
**もう一人家族がいるような安心感で、声でセキュリティの操作もできる、コミュニケーションロボットです。**

※別途ご購入頂くものとなります

**私たちが担当します！**

磯貝 香也子
（いそがい かやこ）
アシスタント
■出身地：
埼玉県川口市
■趣味：ヨガ、旅行
■性格：明るく
プラス思考

土屋 美幸（つちや みゆき）
■出身地：埼玉県朝霞市
■趣味：季節のお花めぐり、
森林浴
■性格：明るく
フットワークが良い

ご自宅でお困りごとやご不安はございませんか？セコム・ホームセキュリティで皆様の安心・安全な暮らしのサポートをいたします。使い方はとっても簡単！お気軽にご相談ください。

## セコム・メディカルクラブ

**耳より情報！**

セコムでは契約された方への生活安心サービスとして「セコム・メディカルクラブ」を設けています。24 時間 365 日豊富な経験を持つ看護師が対応する電話健康相談サービスや、医療機関情報の検索サービスなど、健康に役立つ情報を契約者の方々に提供しています。わざわざ病院に行くほどではないけれど、健康上のちょっとした不安があるときなどこのサービスをご利用ください！

# ニュージーランド撒骨の旅に寄せて　前編

2018 年 12 月 9 日～ 15 日にかけ、恒例のニュージーランド撒骨ツアーを開催しました。前回に引き続きご案内いただいた、谷本丈夫先生（宇都宮大学名誉教授、牧野植物同好会会長）、谷田貝光克先生（東京大学名誉教授、NPO 農学生命科学研究支援機構理事長）にご紹行文・お写真をお寄せいただきましたので、今月号と来月号の 2 号にわたりご紹介いたします。今月号では、谷本先生のご紹行文をお楽しみ下さい。

りすシステム 墓誌

## ニュージーランド撒骨の旅

宇都宮大学名誉教授・牧野植物同好会会長
谷本　丈夫

### クライストチャーチ〈撒骨式〉

クライストチャーチの空は、すっきりとした夏空ではありませんでした。さっそく、公園墓地を訪ねたところ、バラがきれいに咲いていました（写真1）。

西洋には「バラは、庭師の亡くなったのを見たことがない」と言う言葉があるそうです。これは技術として、バラの手入れが幾代にも庭師に引き継がれ、適切な手入れによって美しいバラは開花する、を意味しています。ここに来る度にどんな手入れが誰によって為されているのか、そんな思いがふとよぎる。綺麗なバラ達にまた逢えました。その一郭にりすシステムの墓誌があります（写真2）。

散策するのに丁度良いスペースの通路と、たくさんの樹木が植え込まれた景観は、日本の墓地とはかなり異なった印象で、さまざまな樹種の根元にも、バラの植え込み

2　墓誌の前で

1　花に囲まれた墓地

4　イルカ

3　タイサンボク

6　撒骨と献花

5　リトルトン港

に沿っても小さな墓誌が並んで、今、はやりの樹木葬を思い浮かべます。12月に咲いているタイサンボクの大きな白い花（写真3）が、南半球の旅情を深めます。

撒骨が行われるリトルトン港には、ニュージーランドでしか見られない希少種、世界最小のヘクターズドルフィンが生息しています。これまでの撒骨では、遙か沖合にそれらしい痕跡が確認できましたが、遭遇する機会はありませんでした。今年は、船の舳先に平衡して回遊するイルカを見ることができました（写真4）。イルカの泳ぐような豊かな海、リトルトン湾です。

外洋に近い撒骨場所は、やや波が高く停船中は揺れがひどくなることから、くちばしのように伸びた陸が風除けになる海域で撒骨が行われました（写真5）。

例年どおり撒骨の由来などが説明され、各自の手からオブラートに包んだ細粉された遺骨と手向けの花が海へ（写真6）。何か厳かな気分の一時でした。

## マウント・クック国立公園

前日、メインテーマの撒骨の儀式を滞りなく済ませ、本日からはもう一つのテーマ、撒骨の島、ニュージーランドを見聞して理解する。科学する旅の始まりです。

クライストチャーチからカンタベリー平野を、途中のテカポ湖を経てマウント・クック国立公園までバスの旅です。車窓からはウシ、ヒツジ、ヤギそしてシカの牧場と、麦、馬鈴薯の耕作地などが広がり、巨大な散水装置が目につきます（写真7）。

ニュージーランドは、北島と南島とで構成され、マウント・クック国立公園は南島のやや西側に位置しています。有名なマウント・クックを中心にした、山岳氷河に覆われた山脈は、サザンアルプスと呼ばれています（写真8）。

マウント・クックは富士山より6mほど低い3770mの頂きを持つ、峨々たる雄峰です。

7　スプリンクラー（散水装置）

富士山とほぼ同じ高さなのに、何故氷河に覆われているのでしょう。サザンアルプス地域は、場所によって年間5000㎜を超す多雨地帯の影響があるからです。ここを越えた気団は乾燥してしまい、カンタベリー平野を超してクライストチャーチに至る頃には、年間降雨量わずか500㎜、スプリンクラーの必要な寡雨地帯になってしまうのです。冬の関東地方は晴天乾燥が続き、日本海側では降雪に悩まされる西高東低の気圧配置と同じ現象と言えます。

テカポ湖は、サザンアルプスの山麓、その昔氷河に覆われていた谷地形に堰堤を造り、堰き止めた人造湖で、豊富な氷河の水で涵養されています。さらにその隣に、マウント・クックから流れ出る氷河の末端にある堰止め湖がプカキ湖、この湖に続くU字谷を埋めた、広大な河原の最上部が、2泊予定のマウント・クック国立公園に指定された世界的な名勝地で、写真8手前中央のセフトン山の山陰に位置しています。

テカポ湖では昼食のあと、湖岸の植物の観察と散策をしました。最近では世界的に生物の多様性を保護・保全する機運が高く、ニュージーランドはその先進国と言えます。テカポ湖の湖岸は、ルピナスと呼ばれるマメ科の園芸植物が美しい自然の花園

8　マウント・クック国立公園パノラマ

をつくっていました（写真9）。この花はイギリスからの移民によって持ち込まれたのですが、現在、外来種として駆除されています。

元々、ニュジーランドは7500万年前の大昔にゴンドワナ大陸と呼ばれる1つの大陸から分離、現在の姿になったために生物の種類は少なく、固有種が多くなっています。そこに生活力の強い生物が持ち込まれると在来の固有種が絶滅するなど、自然改変が進んでしまうことになります。

例えば日本では植物の種類が3800種と記録されていますが、ニュージーランドでは1800種と2000種も少ないとされています。そんな特殊な生い立ちを持つ国ですので、自然の保護は徹底した配慮が為されています。

9　ルピナスとテカポ湖

宿泊はシーズンの予約が非常に困難なハーミテージホテル。ここを出発点として健脚向き、初心者、散歩道など幾つものトレールがつくられています。

また、この付近の標高は800m程で、森林が成立する限界近くに位置しています（写真10）。因みに日本では、森林限界は、南・北アルプス付近で約2500m付近になります。

10　ホテルからの眺望

周辺の山岳は氷河に削られた荒々しい急崖、土の溜まった緩斜面にへばりつくように樹木が生育しています。太古からの森で原始的なシダ類（写真11）、風変わりな針葉樹、イヌマキの仲間「セロリ・パイン（写真12、次ページ）」など。パインとなっていますが、南半球にはマツ属は生育していません。

どこも風変わりな、ニュジーランド固有の樹種に覆われていました。その一つ、ツツジの仲間なのにイネ科やパイナップルの仲間のような葉も持ったグラスツリー（写真13、次ページ）、氷河に削られたU字谷

11　原始的なシダ類

を埋めた広い河原、そこに生育する高山植物、マウント・クックリリー、セリ科のホリド・スパニアード（写真14）など、悠久の時間を思い起こす散策ができました。

しかし、残念なことにマウント・クックの頂きは終日雲霧に覆われ、マウント・クックリリーの花（写真15）を見ることもできませんでした。見残しは少し心残りでしたが、次回を期待して次の旅に心を馳せます。

## ティリティリ・マタンギのサンクチュアリ

マウント・クック国立公園からクイーンズタウンへ、車窓からの景観を楽しみ、そして空路オークランドへ飛びました。

午後はラベンダーガーデンの見学、アルパカの餌づけの体験と香油製造装置見学、丘の上から北島の田園風景を満喫して、ホテルに入りました。

翌日、最後の目的地、ティリティリ・マタンギ島へ。島へ向かうフェリーボート乗り場に隣接した桟橋へ、対岸のベッドタウンからの通勤客が次々に下船する様子に驚き、更にティリティリ・マタンギ島への観光客は少ないのではと危惧していたのが嘘のような、多くの観光客にも驚き、1時間20分ほどの船旅を楽しみました。出航前と

12　セロリ・パイン

13　グラスツリー

14　ホリド・スパニアード

15　マウント・クックリリー

16　ポフツカワ

17　キャベツ・ツリー

島での散策の前に注意点などの説明があり、保護管理の徹底ぶりを肌で感じ、どんな島だろうと心が躍ります。

この島は、豊かな森林が伐採され牧場として利用されていたようです。島の灯台守をしていた篤志家が、森林再生を思いつき、1984年から94年までの10年間で、30万本もの樹木をボランテイア活動で植え付けました。

島の中には幾つかのトレールがあり、ボランティアの案内、説明員にしたがって観察を行うルールのようでした。我がグループは名ガイドの難波さんがいますので、

18　スーパーマーケットの木

樹木の説明から鳥類の観察、ゆっくりと島の散策ができました。

船着き場付近の穴は、ガラス越しに観察するペンギンの巣。海岸の段丘崖にはポフツカワの巨大な樹林、これは開発前からの樹林です（写真16）。

その他、固有種などニュージーランド産で乾燥する尾根、湿った谷などにはキャベツ・ツリー（写真17）、木生シダ類、フラックスなど地形に適した樹種が、生育環境をよく観察されて植えられていました。

灯台近くのブドウの仲間、現地語で「プリリの木」は果実の彩りの豊富さ、訪れる鳥の多さから「スーパーマーケットの木」と呼ばれているそうです（写真18）。観察道路は整備され、自然のままの木立にNZバトが出迎え（写真19）、そこここに聞こえる小鳥の囀りに心癒やされる一時でした。

人工的な観光施設ではない、再生された自然環境の島に、多くの観光客が訪れている。りすシステムが進めている、「地球に恩返しの森」づくりのあるべき形を確認できた散策でした。

19　NZバト

## 《お知らせ》

どの支部の行事でも参加できます。事前に連絡ください。

### 東日本支部　暮らしのよろず相談会

▽日　時：3月20日（水）10時～16時
　　4月20日（土）10時～16時
▽会　場：りすシステム東日本支部（本部）
　　北の丸グラスゲート1階
▽担　当：
　　森　妙子（消費生活アドバイザー
　　生前契約スーパーバイザー）
　　松島如戒（不動産コンサルタント）
　　杉山　歩（りすシステム代表理事）
　　末藤康宏（りすネット不動産事業部　部長
　　宅地建物取引士
　　福祉住環境コーディネーター）
▽締　切：1週間前までにお申込みください

### 東日本支部　法律相談

▽日　時：3月18日（月）13時～15時
　　4月24日（水）13時～15時
▽会　場：りすシステム東日本支部（本部）
　　北の丸グラスゲート5階
▽担　当：長谷川範子 弁護士
▽締　切：1週間前までにお申込みください

### 東日本支部 りすセンター新木場見学会

▽日　時：3月12日（火）13時30分～
　　4月12日（金）13時30分～
▽締　切：前日までにお申込みください
※新木場駅から送迎の用意があります
※Ai（死亡時画像診断）装置の見学もできます

### 西日本支部　談話サロン

▽日　時：3月23日（土）12時～14時
　　4月23日（火）12時～14時
▽会　場：りすシステム西日本支部
▽参加費：500円（軽食をご用意します）
▽締　切：3日前までにお申込み下さい

### 西日本支部　法律相談

▽日　時：3月20日（水）13時～15時
　　4月17日（水）13時～15時
▽会　場：りすシステム西日本支部
▽締　切：1週間前（定員になり次第締切り）

### 大分支部　うたごえサロン

▽日　時：3月22日（金）13時～15時
▽会　場：カラオケLAGULAGU
▽参加費：600円▽締　切：3月20日（水）

※本誌前号第267号（2018年12月・2019年1月合併号）13ページ掲載の「施設見学会」の記載の中に、「4月に東京都北区王子にオープンする」とありましたが、こちらは2018年4月に開設済みの施設です。記載に誤りがありましたことをお詫びし、訂正いたします。
　なお、こちらの施設見学会は定員に達しましたので、締切りとさせていただきました。

## りす友おたより紹介コーナー

拝啓　厳しい寒さがやってまいりました。
　久しぶりの阪急梅田は整備されていて、迷いそうでした。新年会も大人数の中、和気あいあいで、りす様の発展の証しと思います。杉山代表も場を明るくして頂いてほっこり致しました。
　皆々様も若くてお元気で又、やさしい心遣いと大変お世話になりました。
　賑やかで…美味しくて…楽しくて…ストレスも吹き飛び、至福のひとときでした。
　今年もつつがなく、なるべく人に迷惑を掛けないように気を付けて、生きる日々を自分に負けないで過ごす事ができたらと願っています。
　皆様、インフルエンザなどに気をつけられて、くれぐれもご自愛下さいませ。
敬具

兵庫県A・M様

# お花見 例会のご案内

今春、下記の会場でお花見例会を開催いたします！皆さんのご参加をお待ちしております。全会場、りすシステム代表・杉山も参加いたします。お申込みの方に詳細をお送りします。

## 東日本支部 3月28日(木)

ランチはテーブルビュッフェ、神田陽子師匠の講談をお楽しみいただきます

▽日　時：3月28日（木）12時～14時
▽会　場：ホテル椿山荘東京
▽懇親会：バンケット棟4階
▽参加費：4000円　▽定　員：150名
▽締　切：定員になり次第締切ります

## 西日本支部 4月5日(金)

桜鑑賞と京町屋でのお食事会

▽日　時：4月5日（金）11時～15時30分頃（雨天決行）
▽集　合：京都地下鉄「北大路」駅
▽食事会：京都 喜Shin　11時30分～13時30分
▽桜鑑賞：原谷苑　14時～15時30分
▽参加費：2000円（現地集金）
▽締　切：定員になり次第締切ります

## 中国支部 4月6日(土)

平和記念公園を望む水辺のオープンカフェで、花見とイタリア料理を楽しみましょう！

▽日　時：4月6日（土）
▽集　合：11時15分 広島駅新幹線口、または、11時40分 原爆ドーム前
▽食事会：カフェ ポルテ イタリアーノ
▽参加費：1500円前後（各自お支払い下さい）
▽締　切：4月1日（月）

## 北日本支部 4月19日(金)

▽日　時：4月19日（金）
※詳細は決定次第お知らせします

## 2019年 新年会写真館

大分支部 1月18日

九州支部 1月17日

東日本支部 1月29日

西日本支部 1月23日

四国支部 1月25日

中部日本支部 2月5日

# 支部活動記

## 北海道・北日本支部

▼Tさん（96歳・女性）がりすシステムと契約したのは12年前のこと。ご主人に先立たれた後に参加した独身女性セミナーでりすシステムのことを知り、すぐに契約しました。

その後、サービス付き高齢者向け住宅・介護付き有料老人ホーム入居時の身元引受保証人の受諾、通院の際の付添い、入院保証などのサポートを行ってきました。デパートのエスカレーター前で転倒し、搬送先へ駆けつけたこともあります。数年前からは認知症の症状が進行してきたため、任意後見監督人選任の申立を行い、引き続き任意後見人としてサポートをしていました。

そんなTさんが昨年末、体調不良を訴え救急搬送されました。診断は慢性心不全の急性増悪で、そのまま入院となり、1ケ月後に旅立ちました。その日Tさんは昼食を完食、食後のコーヒーも「とっても美味しい」と召し上がり、穏やかに午後のひと時を過ごしていたそうです。数時間後、看護師が見回りに伺ったところ、既に心肺停止状態となっていたそうで、連絡を受け病院へ急行しました。

病室でお会いしたTさんのお顔は本当に安らかで、眠っているようでした。

「この歳になっても、何も不安はない。安心して暮らしていける。りすさんのお陰です」と言っておられたTさん。現在、企画書により、死後事務を履行しています。

## 東日本支部

▼16年前ご主人に先立たれたのを機に、りすシステムと契約したHさん（79歳・女性）。契約後、住んでいた介護付有料老人ホームの身元引受保証人をりすシステムに変更し、その後はサポートや見守り訪問などの依頼もなく、趣味のダンスをしたり水彩画を描いたりする生活を楽しみながら、数年が経過しました。

そんなHさんから連絡があったのは、昨年の春のこと。外出中めまいを起こし受診したHさんは、そのまま入院することになり、精密検査の結果、急性骨髄性白血病と診断されました。余命宣告を受け、当初、積極的治療を希望していなかったHさんですが、友人のすすめもあり抗がん剤治療を開始。しかし、副作用に襲われる過酷な闘病となり、鏡に映る自分の顔を見て「こんな顔で死にたくない」と治療を中止し、施設に戻りました。

その後は受診の付添い、医師説明の際の同席、介護サービス契約時のサポート等を行ってきましたが、Hさんは過酷な状況下でも、いつも毅然としていました。やさしく控えめな性格のため、施設との行き違いがあった際に言いたいことを我慢していたこともあり、りすが間に立ち、Hさんの希望を施設側に伝えたこともありましたが、「あなたが家族の代わりとして、私の気持ちを代弁してくれて嬉しかった。本当にありがとう」と言って下さいました。

ほどなくして病状が悪化したHさんは、ホスピス緩和ケア病棟に入院しました。週1回の訪問の際に、食べたいものや好みの品を持参すると、いつも笑顔で迎えてくれたHさん。晴れた日には屋上庭園で草花を愛で、飛行機雲を眺めながら、頬を撫でる風に「清々しいわ」と、穏やかなお顔でつぶやいていました。

「出来るだけ来てもらいたいけれど、あまり私が独占するわけにもいかないから…。でも、今日で最後になると思う…」とおっしゃるHさんに、また2日後に会いに来ますからとお伝えしました。「2日後ですね…。楽しみにしています」とおっしゃってくれたH

さんでしたが、訪問した2日後は既に意識がなく、耳元でこれまでの思い出話や、りすを頼りにしてくれたことへの感謝の気持ちをお伝えすると、そのまま息を引き取りました。

「りすシステムは私の思った通りのところでした。看取りもお願いしますね。あなたと出会えて本当に幸せだった。ありがとうございました」そう言って下さったHさんの声がふと蘇ります。Hさんから教わった多くのことを、利用者の皆さんにお返ししていきたいと思います。

## 中部日本支部

▼2013年にりすシステムと契約したSさん（69歳・女性）は、契約当初サービス付き高齢者向け住宅で暮らしていました。しかし、脳梗塞の後遺症で認知症の症状が進行し体調が悪化、受診の付添いサポートも増えました。介護度も3となり、夜間看護師の配置のないサービス付き高齢者向け住宅での生活には限界が見えてきたため、転居先を探すことになりました。

年金生活で経済的な不安もあり、特別養護老人ホーム数ケ所に入居の申込みをし、2017年末、りすが身元引受保証人となり、現在の施設に入居出来ました。

また、かかりつけ医や施設からの情報を得て、各種の福祉サービスが受けられる精神障害者保健福祉手帳の申請手続きや、介護保険負担限度額認定証交付手続きを行って交付を受け、経済的な負担を軽減することが出来ました。

特別養護老人ホームへの転居後は体調も安定し、受診の付添い回数も減り、現在では1～2ケ月に1回の割合で外出時に付添っています。

お元気になって喜ばしい反面、介護認定の区分変更の結果、要介護3から1となり、特別養護老人ホームの入居条件の要介護3以上から外れてしまいました。そこで施設に相談し、市に対し特例入所の申請手続きを行いました。結果、3年間の期限付きで特例入所が認められ一安心。今後も契約家族として、Sさんのサポートを続けます。

## 西日本支部

▼奥さんに先立たれた後、施設へ入居することにしたUさん（84歳・男性）は、身元引受保証人をりすシステムに依頼するため、りすと契約。しかし施設入居後、集団生活に馴染めず、ほどなくしてマンションで一人暮らしを始めました。

そんなUさんが持病の悪化で入院しました。担当医から、マンションでの一人暮らしを続けるのなら、要介護認定の申請をし、介護支援を受けましょうとの提案があり、申請の結果、要支援1と認定されました。

退院後しばらくは体調も安定し、お電話も下さっていたUさんでしたが、昨年12月上旬、マンションのセキュリティー会社から、「Uさんの動きがなく、電話にも出ません」との連絡が入りUさん宅へ急行。りすで自宅の鍵を預かっていたので開錠し、入室したところ、意識朦朧となり倒れていたUさんを発見。担当のケアマネージャーにも来てもらい、Uさんをベッドまでお連れしました。

後日、Uさんの今後について、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の担当者と打ち合わせました。要介護認定の再申請も行い、要介護3となり、訪問介護、訪問看護、訪問入浴、クリニック、薬局、福祉用品レンタル等の契約手続きを済ませ、サポート体制を整えました。

様々な支援を受けながらの生活となったUさんですが、最近は足取りもしっかりと、近くのコンビニで好きなおやつを買うほどお元気です。Uさんのご希望通り、このまま自宅で暮らしていけるようサポートを続けます。

## 中国支部

▼介護老人保健施設に入所しているIさん（85歳・男性）のことで相談があると、ケアマネージャから連絡があり、「Iさんが甘いものを食べたいとのことです。次回訪問時に、プリンなど柔らかいものをお持ち下さい」と言われました。Iさんは数ケ月前に入れ歯を作っていたので、少し硬いものも食べられるのではと、その旨伝えたところ、「上の入れ歯がしっくりこないようで、いつも外しています。食事中もつけないので、ミキサー食を提供しています」とのことでした。

次の訪問時、Iさんに、「入れ歯をつけて、きちんと噛めるようになれば、形のある食事が摂れるようになりますよ。入れ歯が合わないようなら、歯医者さんに調整してもらいましょう」と提案したところ、「食事を楽しみにしているのに、どろどろしたものしか出てこない。好きなパンも、肉や魚も食べられないなら、入れ歯は必要ない！」と語気を荒げ話がかみ合わず、食べたいものが食べられない苛立ちが伝わってきました。

施設の看護師に相談したところ、「入れ歯を使用し、ある程度噛めるようにならないと、誤嚥の危険性があるので、今のままのミキサー食となります」とのことでした。せめて柔らかいおかずや果物などを持参してよいか訊ねましたが、許可を得られませんでした。

再度Iさんに、「次回の訪問時、一緒に歯科医に入れ歯の調整をお願いしてみませんか」と伝えました。少し考えた後Iさんは、「分かりました。食事が一番の楽しみなので、次回、りすさんから先生に相談してみて下さい」と依頼され、状況改善へ向け一歩前進です。

医師に自分の考えをうまく伝えられない、医師の説明がよく分からない等ありましたら、りすシステムのアドバイザーが同席し一緒に説明をお聞きします。ご相談下さい。

## 四国支部

▼愛媛県内のケアハウス（軽費老人ホーム）に暮らすYさん（81歳・男性）。横浜に住んでいた頃にりすシステムを知り、独り身で、今後は身元引受保証人が必要となる場面も多いと思い、りすと契約しました。積極的に施設探しに取り組んでいたYさんは、シニア向け雑誌や新聞などで情報を収集し、全国どこでも、気になる施設は旅行を兼ねて訪問してきました。

預貯金の残高と相談しながら、Yさんが最初に移り住んだのは、香川県のケアハウス。横浜からの転居となると準備等もたいへんでしたが、一つひとつ片付けました。その後、香川から愛媛のケアハウスへ移り、現在に至ります。

「オープンしたばかりの香川の施設を気に入っていましたが、さらに良いケアハウスを愛媛に見つけ、引っ越しました。その都度、戸籍と住民票も移しています。ケアハウスは自由度があり、費用も安いので住みやすい。ただ今後、要介護となればどうなるか分かりません。死ぬまで元気でいたいものです。こうやって私が自由に移動出来るのも、りすシステムが身元引受保証人となってくれるからです。本当に感謝しています」

Yさんは、早いうちから老後の生活のことを自分で考え決定し、行動に移してきました。趣味のカラオケでストレスを発散し、毎月25日開催のなんでも談話室にも参加下さっています。全国の施設を見学し、施設探しのプロとなったYさんのお話もお聞き出来ますので、ぜひ談話室にお越し下さい。

施設には様々な種類があります。違いがよく分からない、自分に合った施設を一人で判断するのが難しいなど、悩んでいる方はご相談下さい。

## 九州支部

▼住宅型有料老人ホームに暮らし、毎月29日開催の「なんでも談話室」を楽しみにして下さってい

るKさん（87歳・女性）。月曜から金曜のデイサービスではカラオケを楽しみ、十八番は美空ひばりの『川の流れのように』です。

明るく前向きなKさんの次なる目標は、長野にある旧友Tさんの個人美術館を訪れることです。ホーム入居を機に、亡くなったご主人が収集していた石を手放すことになり、Tさんからの、「責任をもって展示させてもらうので、引き取らせて欲しい」との申し出を快諾したKさんは、思い出の石をTさんに託しました。

これが縁となり、毎年Tさんから、「Kさんはお元気にされていますか」とリンゴが事務所に届き、忘年会に参加されるKさんや、みなさんで美味しくいただいています。昨年の忘年会の際、電話でTさんとお話したKさんは、暖かくなったら美術館を訪問する約束をし、りすシステムが付き添うことになりました。体調に留意し、ワクワクしながら春を待っているKさんです。

▼福岡市内の養護老人ホームに入居して4年が経つOさん（83歳・女性）は、大分・功徳院本院への納骨を希望されています。

それも関係しているのでしょうか、大分支部主催の行事に積極的に参加され、これまでにも功徳院界隈の散策、大分安心院（あじむ）ぶどう狩り、そして大分支部新年会に3年連続で参加されています。「記憶にございません」が口癖のOさんですが、行事の記念写真を見ながらいつもニッコリされ、周囲を和ませてくれます。

毎月の受診や行事参加の付添いの時には、自身の若かりし頃のことや、りすシステムとの公正証書契約時にお世話になった、公証人の先生のことをお話し下さいます。いつも感謝の気持ちを忘れないOさんに、こちらこそ、りすを頼りにしていただきありがとうございますとお伝えしています。

## 大分支部

▼大分支部が開設されて今年で14年目になります。開設当初、地元の大分合同新聞に、りすシステム大分支部開設の記事がカラー写真入りで掲載されました（2005年8月15日付）。

記事の内容は「少子高齢化や、核家族化が進む中、老人ホームの入居保証や葬儀といった、家族が担ってきた生前や死後の役割を引き受ける特定非営利活動法人の大分支部が、大分市内に開設された。本部は東京、大分は8ケ所目の支部…」というものでした。

この記事を読んだAさん（91歳・男性）は、「平和な今の世の『死にかた用意』！それが、りすシステムの生前契約だ」と直感、りすシステムと契約しました。

Aさんによると、死にかた用意については、「昭和20年（1945年）4月、日本海軍の戦艦大和は、停泊地の瀬戸内から沖縄へ向かって出撃、米軍機の攻撃を受けて沈没したが、その時、出港を前にして若き臼淵大尉は部下の兵士たちに、『死にかた用意を説いた』と言う秘話がある」そうです。

Aさんは持病のため、毎月2つの総合病院を受診し、りすで、付添い、入院時の身元引受保証と手続き、手術立会い、術後の医師説明の同席などのサポートを行ってきました。体調の良い日は一緒に買い物に出かけ、身支度を整え、おしゃれだったAさんの付添いは、楽しいものでした。

受診日に緊急入院になったことがあり、自宅へ必要な物を取りに伺ってみると、「入院用品」と書かれたバッグに必要なものがすべて用意され、下着やパジャマ、靴下は季節に応じて入替えがなされ、そのバッグを持っていくだけで事が足るよう、配慮されていました。

2年前、圧迫骨折で入退院を繰り返し、要介護5の寝たきりの状態になったAさんは、日常生活の全てに介助が必要になりました。

「サポートは全員男性にしてほしい」というAさんの希望をケアマネージャーに伝え、訪問介護、訪問診療、訪問マッサージなど、たくさんの方のサポートを受け、毎日を過ごしていました。

徐々に食べる量が減ってきたとの報告がヘルパーからあり、心配していた矢先、住んでいたサービス付き高齢者向け住宅の閉鎖が決まりました。急ぎ転居先を探し、介護付き有料老人ホームへ転居出来ることになり、これを機にいい方向へ向かうことを願いましたが、期待したように事は運びませんでした。

Aさんに何が食べたいかをお聞きし、いなり寿司、キュウリの酢和え、大根の煮つけ、厚揚げ、玉子焼きなど、Aさん馴染みのお店で買いそろえ持って行くのですが、「吐き気がして食べられない」と2口、3口しか食べられない日が続くようになり、とうとう手でバツ（×）をして、食事を拒否するようになりました。

「何か食べたいものはありますか」と聞くと「かき氷」と答え、相談員にお願いしました。「時季はずれで何処にもなくて、ホームセンターの倉庫に眠っていた氷削り器を、相談員さんが見つけてきてくれたのよ。それで削った氷です」とAさんに伝えると、「ほおー」と笑顔で氷を少し口にふくみ、「これが、いのち綱」と嬉しそうでした。

ほどなくしてAさんから、医師を呼んでほしいとの連絡がありました。Aさんは医師に、「延命はしない。点滴、酸素吸入はしない」とはっきり伝え、医師から、「死を迎えるということになりますが、理解できますか」と問われ、Aさんは「わかっています」と答えました。

この時点でAさんは、「死にかた用意」をされていたように思います。「今日からは、毎日来てほしい。それが元気のもと」と言われたので、スタッフで時間を決め毎日訪問していました。

亡くなる前日は声も出せず、筆談も理解できない状態でしたが、ジェスチャーでの「髪と髭を整えたい」との希望で、愛用の電気カミソリを用意しました。自分で電気カミソリを持って髭をそり、横たわったままの状態で、看護師がハサミでジョキジョキと散髪。スタッフ一同から「男前！」の声もあがり、この日はにぎやかに過ごしました。

「また明日」の言葉に手を上げ、答えてくれたAさんでしたが、翌日の早朝、静かに息を引き取りました。

企画書により、死後事務を進めていますが、対応するアドバイザーが困らないよう配慮され、必要書類がファイル別に整理されていました。「死にかた用意はしてあるからね。よろしく」と言うAさんの声が聞こえてきそうです。

Aさん、ありがとうございました。長い間お疲れ様でした。どうぞ安らかに。

※本誌第266号（2018年11月号）20ページ、西日本支部の支部活動記「何かあってからでは遅いと、セコム・ホームセキュリティにも加入しました。（途中省略）Cさんの応答がないのを心配した食事の配達業者が市役所へ連絡、そこからさらに警察、セコムへと連絡が入りCさん宅へ急行。すでにこと切れていたCさんを発見したとのこと」との記載に関し、「なぜ、セコム・ホームセキュリティに加入していて、市役所・警察、そこからセコムへの連絡となったのでしょうか？」とのお問合わせがありました。

この件に関し、捕捉説明をさせていただきます。

Cさんが加入していたセコム・ホームセキュリティは、防犯・火災・非常通報等にのみ対応するもので、今回の事案に対応できる安否見守りサービスには加入していませんでした。従いまして、セコムは警察から連絡を受けることとなった次第です。

記載にあいまいな箇所がありましたことをお詫びし、補足させていただきます。

# 地球に恩返しＴシャツ・ポロシャツ

カラフルでかわいいロゴ付きの〈特製Ｔシャツ・ポロシャツ〉です。お買い上げ金額の一部を、りすシステムから「地球に恩返し基金」へ寄附いたします。ご協力よろしくお願いいたします。通信販売も承ります。ご希望の方は 0120-889-443 までご連絡下さい。

人気のカラーです！

## Ｔシャツ

■定　価：2,000 円（税・送料込み）■サイズ：Ｓ・Ｍ・Ｌ
■カラー：ホワイト・ピンク・イエロー・ライトグリーン・ライトブルー

## ポロシャツ

■定　価：2,500 円（税・送料込み）■サイズ：Ｓ・Ｍ・Ｌ・LL・3L
■カラー：ピンク・ネイビーブルー

# 地球に恩返し運動について

**私たちの生命を育んでくれている地球 !! このやさしい地球に少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。皆さまのご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板にあなたのお名前が刻まれます。**

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の方は「ペンネーム」を明記の上、「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。

NPO りすシステム
NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構
**地球に恩返し運動本部**
連絡先：TEL.03-5215-2383

**地球に恩返し基金振込先**

●郵便局から振り込む場合
郵便局口座番号：00140-7-743432
加入者：地球に恩返し基金

●他行からゆうちょ銀行に振込む場合
店名：〇一九（ゼロイチキュウ）
種目：当座　口座番号：0743432
加入者：地球に恩返し基金

# 「地球に恩返し基金」に寄附をいただき、ありがとうございました

| | | |
|---|---|---|
| 秋山　英城さん | （東京都江東区） | 勝見　廣美さん　（埼玉県越谷市） |
| 秋山　幸穂さん | （東京都江東区） | 中田　博子さん　（東京都品川区） |
| 大久保　恭子さん | （東京都文京区） | 中野　位子さん　（千葉県鎌ケ谷） |
| 太田　幸枝さん | （埼玉県越谷市） | 西山　節子さん　（東京都板橋区） |
| 大谷　公子さん | （京都府宇治市） | 松本　久満惠さん（東京都西東京市） |
| 村岡　彌太郎さん | （大分県大分市） | |
| 村岡　美代さん | （大分県大分市） | |
| 森岡　秀孝さん | （埼玉県狭山市） | |
| 森岡　まき子さん | （埼玉県狭山市） | |
| 渡邊　潔さん | （栃木県日光市） | |

50 音順

※ 2019 年 1 月 1 日 ～ 1 月 31 日の期間、15 名の方から寄附をいただきました。
※西山 節子さんが 1000 ポイントを達成されました。

## ● なんでも談話室 ●

◎なんでも談話室は、開催時間中ならいつでも自由に参加できます。

**北海道支部**
日時：３月　６日（水）11 時～ 15 時　会場：北海道支部事務所
日時：４月　６日（土）11 時～ 15 時　会場：北海道支部事務所

**北日本支部**
日時：３月 30 日（土）11 時～ 15 時　会場：北日本支部事務所
日時：４月 30 日（火）11 時～ 15 時　会場：北日本支部事務所

**東日本支部**
日時：３月 19 日（火）11 時～ 15 時　会場：北の丸グラスゲート１階
日時：４月 19 日（金）11 時～ 15 時　会場：北の丸グラスゲート１階

**中部日本支部**
日時：３月 10 日（日）13 時～ 15 時　会場：中部日本支部事務所 1211 号室
日時：４月 10 日（水）13 時～ 15 時　会場：中部日本支部事務所 1211 号室

**中国支部**
日時：３月　２日（土）13 時～ 15 時　会場：中国支部事務所
※４月６日（土）は、お花見例会です。詳しくは 13 ページのお知らせをご覧ください。

**四国支部**
日時：３月 25 日（月）13 時～ 15 時　会場：四国支部事務所
日時：４月 25 日（木）13 時～ 15 時　会場：四国支部事務所

**九州支部**
日時：３月 29 日（金）13 時～ 15 時　会場：九州支部事務所
日時：４月 29 日（月）13 時～ 15 時　会場：九州支部事務所

**大分支部**
※３月 22 日（金）はうたごえサロンです。詳しくは 12 ページのお知らせをご覧ください。
日時：４月 22 日（月）13 時～ 15 時　会場：大分支部事務所

## ● 談話サロン ●

**西日本支部**
日時：３月 23 日（土）12 時～ 14 時　会場：西日本支部事務所　詳しくは 12 ページ参照
日時：４月 23 日（火）12 時～ 14 時　会場：西日本支部事務所　詳しくは 12 ページ参照

## ●生前契約説明会・私のおぼえがき講座●

| 支　部 | 電話番号 | 生前契約説明会 | | 私のおぼえがき講座 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道支部 | 011-756-4165 | ５日（１月休み） | 13：30 ～ 15：00 | 随時開催 | |
| 北日本支部 | 022-797-2072 | ２日（１月休み） | 13：30 ～ 15：00 | 随時開催 | |
| 東日本支部 | 0120-889-443<br>03-3511-3277 | 10 日<br>会場：九段下 | 11：00 ～ 13：00<br>14：30 ～ 16：30 | 15 日<br>会場：九段下 | 11：00 ～ 12：30<br>14：30 ～ 16：00 |
| | | 24 日（3･9 月休み）<br>会場：巣鴨 | 13：00 ～ 15：00 | | |
| | | ３月６日、４月５日<br>会場：横浜 | 10：30 ～ 12：30 | ３月 26 日、４月 26 日<br>会場：横浜 | 10：30 ～ 12：30 |
| 中部日本支部 | 052-569-2254 | 25 日 | 13：00 ～ 15：00 | 随時開催 | |
| 西日本支部 | 06-6809-2289 | ７日 | 10：30 ～ 12：00<br>14：00 ～ 15：30 | 26 日 | 10：30 ～ 12：00<br>14：00 ～ 15：30 |
| 中国支部 | 082-568-1585 | 28 日 | 10：30 ～ 12：00 | 随時開催 | |
| 四国支部 | 089-933-5670 | 25 日 | 11：00 ～ 12：30 | 随時開催 | |
| 九州支部 | 092-738-2718 | 24 日 | 13：30 ～ 15：00 | 随時開催 | |
| 大分支部 | 097-538-6263 | 27 日 | 13：30 ～ 15：00 | 随時開催 | |

例会・見学会・談話サロン・法律相談のお申込み先
**0120-889-443**

生活支援テレホン
**0120-332-206**

２４時間３６５日いつでも　りすセンター 新木場
**0120-373-959**　（海外からご利用の場合）+81-3-3522-5660

発　行：りす倶楽部編集部　〒 102-0073 東京都千代田区九段北 1-4-5-5F　TEL：03-3511-3277　FAX：03-3511-3278
編集人：杉山 歩　E-mail liss-system@seizenkeiyaku.org　URL http://www.seizenkeiyaku.org